

五和温泉 潮源（うしお）之湯 探訪記

（令和2年オープンの新施設）



●我が町にも温泉があった？

それを知ったのは、旧金谷町（現島田市）の広報紙《ほほえみ》の紙面だった。日曜日のみの営業（当時）、200円という低料金、地域のお年寄りを中心に誰でも～、等々の情報から、かなり興味を持った。もちろんネットでも調べてみたのだが、出てくるのは「閉鎖しました」という情報…??? 老朽化によって閉鎖されたという旧施設の情報ばかりであり、令和2年にオープンした新施設の情報は全く得られなかった。

正直に言えば、ほとんど情報が無い状態で見知らぬ温泉を訪ねるのは、けっこう勇気がある。事実私も、興味はあったものの1年以上訪れることは無かった。今回、日曜だけではなく土曜日もオープン…という新しい情報を得たのをきっかけに、広報紙《ほほえみ》の取材という形で訪問することになった。

●そもそも場所がわからない？

ネットに情報が上がっている旧施設は、現在は取り壊されて存在しない。そして新施設は、そこ（旧施設）とは全く違う場所に開設されている。つまり、ネット検索によって新・旧の施設の情報に錯綜してしまい、かえって場所がわからなくなる。事実、近所をよく通っていた私も、今までその場所を特定できていなかった。結局、広報紙《ほほえみ》の紹介記事をもう一度しっかり見直してわかった。ポイントは《五和保育園の駐車場内》にある《プラザみんな》という施設の中にあるということ。外から見ても、《潮源之湯》などという看板は見当たらず、保育園の付属施設としか思えない《プラザみんな》であるが、これこそが、目的の温泉施設なのであった。開館日に



は入口付近（表通り＝横岡新田牛尾線）に赤い幟が立てられているので、五和保育園を目標に近くまで行けば、まず迷うことは無いだろう。



●常連さんばかり???

当日は自家用車で行ったので、五和保育園の駐車場に車を停めた。土・日のみオープンだから保育園利用者はいないわけで、十分な広さである。《プラザみんな》の正面にも赤い幟が立っているので間違えることは無いのだが、やはり温泉とは思えない施設なので少し躊躇する。玄関で声をかけると、約束してあった自称《潮源之湯応援団》の増田さんが迎えてくれた。温泉の受付は左の奥の方なので初めてだとわかりにくい、慣れた客はそのまま靴を下駄箱に入れて入館しているようだった。増田さんに案内されて奥に進むと、《休憩室》という感じの部屋があり、常連さんらしき人が数人テーブルを囲んでいた。洋式のテーブルと椅子だけではなく、高さの低い和式のテーブルや座椅子もあり、お茶やお菓子も用意されていた。左手前にはカウンターがあり、そこで名前を記入したり、入館料を支払ったりする。ここで増田さんから潮源之湯のことをいろいろと教えていただいたのだが、詳しくは後で書くことにする。



常連さんたちは、私のようないわゆる《一見さん》に対しても好意的で、休憩室の写真を取らせていただく時も冗談まじりで、とても気さくに應對してくれた。「常連さんばかりの中に入って気まずい思いをするのでは…？」などという危惧は無用だと感じた。

●まさに《至れり尽くせり》な設備

そのあと、実際に入浴させてもらった。常連さんたちは、休憩室でおしゃべりしながら譲り合って入浴しているようで、浴室が一気に込み合うようなことは無い。実際私も、浴

室独り占めでゆっくりと入浴させていただいた。浴室の設備は本当に行き届いたもので、200円という料金が信じられないほどであった。なお、男性、女性とも同じつくりになっているようだ。以下、写真とともに紹介していきたい。



椅子が置いてあるのもありがたい。奥に見えるのはトイレ。左手前が浴室への扉。

《脱衣場》

ロッカー等は無く、脱衣カゴが6つほど準備されている。利用者の多くは顔見知りだし、スタッフの方が近くにいるので問題はないだろう。

洗面台があり、ドライヤーも自由に使うことができる。



扇風機だけではなく、エアコンも設置されている。湯上りも快適、間違いなしである。

一日中出たり入ったりすることができるので、このタオル掛けも重宝するのではないだろうか。



《トイレ》

清潔な洗浄機付きのトイレが、脱衣場に隣接して設置されている。高齢者の利用を考えて、立ち上がりやすいように縦方向に伸びる手摺りありがたい。

《浴室（洗い場）》



カランは2つ。もちろん温度調節可能である。洗面器と椅子は木製で、味がある。また、洗い場用の椅子も置いてあり、のぼせた時など、気持ちよく休むことができそうである。



シャンプー、ボディソープの他に、昔ながらの石鹸も置かれている。まさに「手ぬぐいひとつでおいでください」という増田さんの言葉通りである。



手摺りも左右に設置され、右利きの人でも左利きの人でも使いやすい。本当に高齢者にはありがたい。

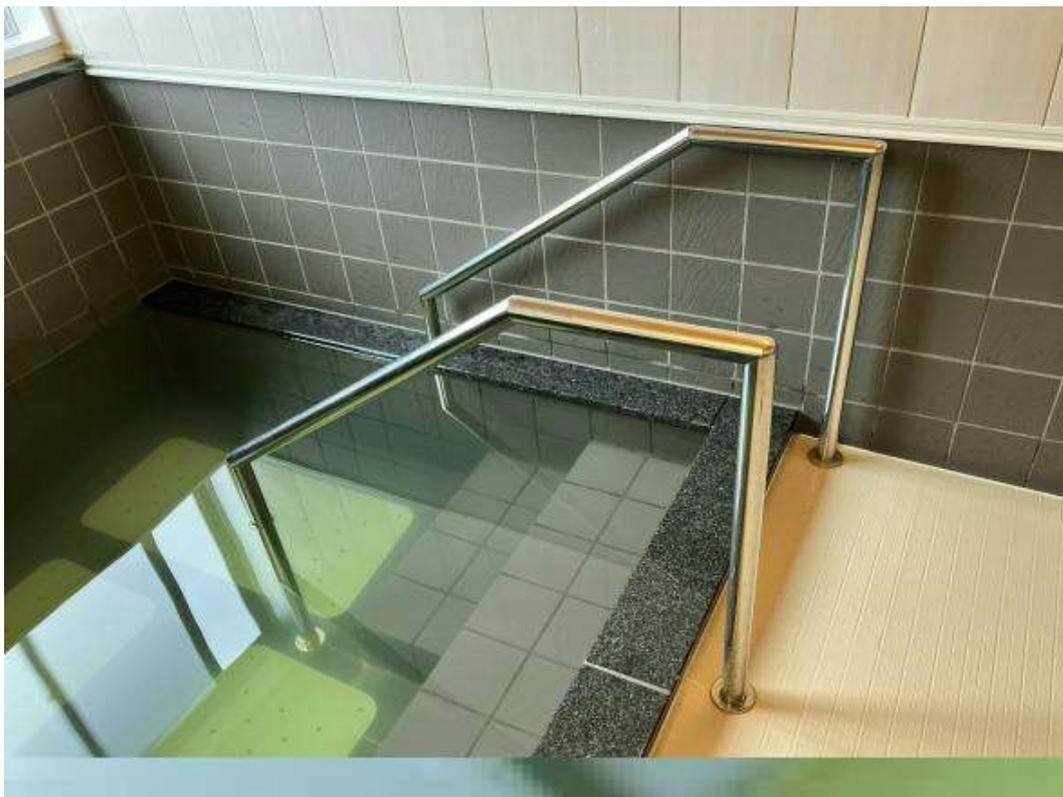
《浴室（湯船）》

湯船は3～4人くらいゆったり入れるほどの広さで、階段部分にはしっかりと手摺りが設置されている。

お湯は、やや緑がかった色調で、ヌルヌル感がある。そのためか、床面に滑り止めのシートが敷いてあるところも親切である。源泉の温度は26℃ということで、加温している。飲用には適さないとのことだが、舐めてみると少し塩味を感じる。私は温泉通ではないので泉質の評価はやめておくが、ネット上で見つけた旧施設の探訪記等によれば、温泉マニ



アをも唸らせるような極上の泉質である…らしい。詳しくは、温泉分析書を参照。



●まる一日、のんびりと楽しく過ごせる…

常連の皆さんは、湯から上がると休憩室でお茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいる。有料だがマッサージ機も設置されているし、囲碁や将棋の貸し出しもある。食事等を持ち込むことも自由で、まさに1日中のんびりと過ごすことができる。

提供されるお菓子等は、常連さんが好意で持ってきてくれるとのこと。潮源之湯を愛する人たちの善意に支えられている施設なのだと感じた。

●温泉水をいただいていくこともできる。

施設の外に《くみ出し温泉場》があり、自由に温泉水を持ち帰ることもできる。ただし、湧出量の関係で、1回につきペットボトル2本程度とされている。持ち帰るためのペットボトルが置いてあるのも大変親切であると感じた。



●潮源之湯について

基本的には、社会福祉法人五和会の地域貢献事業として運営されている施設であり、地域のお年寄りの交流の場であるが、希望者は誰でも入浴可能。むしろ、いろいろな方々に来てほしいとのことだった。

運営時間 土曜・日曜のみ 10:00～15:00

入浴料 200円(子ども100円)

市内、市外、同一料金

住所 島田市牛尾1096-4

電話 0547-54-5005



温泉分析書は以下の通り。

温泉分析書

第 M17028 号

1 申請者 高田市牛尾102番地の1
特別養老老人ホーム本田山荘

2 源泉名及び湧出地 牛尾温泉 牛尾 (台帳番号 858-001号)
高田市牛尾1459-1

3 湧出地における調査及び試験成績

(1) 調査及び試験者 一般財団法人静岡県生活科学検査センター
福澤弘志 室井晋之

(2) 調査及び試験年月日 平成30年1月16日

(3) 泉温 26.0℃ (調査時の気温 10.4℃)
湧出量 7.7 L/min (動力 0.25kW 水中ポンプ)

(4) 知覚的試験 殆ど無色、透明、微塩味、無臭
ガス発生なし

(5) 水素イオン濃度 (pH値) 8.2

(6) 電気伝導率 (EC値) 1531 μS/cm

4 試験室における試験成績

(1) 試験者 一般財団法人静岡県生活科学検査センター
那須野晃亨 福澤弘志 森 大地 山田将喜

(2) 分析終了年月日 平成30年2月9日

(3) 知覚的試験 殆ど無色、透明、微塩味、無臭

(4) 密度 1.0042 (20℃/4℃)

(5) 水素イオン濃度 (pH値) 7.95

(6) 蒸発残留物 7.118 g/kg (180℃)

5 試料1kg中の成分、分量及び組成

(1) 陽イオン

成分	ミリグラム (mg/kg)	ミリバール (mv/L)	ミリバール当り (mv/L)
ナトリウムイオン	2739	119.1	96.88
カリウムイオン	76.9	1.97	1.60
マグネシウムイオン	3.4	0.28	0.23
カルシウムイオン	31.4	1.57	1.28
鉄(II)イオン	0.3	0.01	0.01
陽イオン計	2851	122.9	100.00

(2) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg/kg)	ミリバール (mv/L)	ミリバール当り (mv/L)
炭酸水素イオン	1118	18.32	14.94
塩化物イオン	8699	104.3	85.03
臭化物イオン	1.8	0.02	0.02
ヨウ化物イオン	2.6	0.02	0.02
硫酸イオン	0.2	0.00	0.00
陰イオン計	4822	122.7	100.00

(3) 遊離成分

成分	ミリグラム (mg/kg)	ミリモル (mmol/kg)	
スタケイ酸	H2SiO3	45.3	0.58
メタホウ酸	HBO2	166.0	3.79
非遊離成分計	211.3	4.37	

溶解物質 (ガス性のものを除く) 7.884 g/kg

溶解ガス成分

成分	ミリグラム (mg/kg)	ミリモル (mmol/kg)	
遊離二酸化炭素	CO2	51.3	1.17
溶解ガス成分計	51.3	1.17	

成分総計 7.935 g/kg

(4) その他微量成分

成分	ミリグラム (mg/kg)	成分	ミリグラム (mg/kg)		
アルミニウムイオン	Al+++	0.05	チオ硫酸イオン	S2O3--	<0.1
マンガンイオン	Mn++	<0.05	総硝酸	T-NO3	<0.1
鉄(III)イオン	Fe+++	<0.05	総リン酸	T-P	<0.01
銅イオン	Cu++	<0.05	総ヒ素	T-As	<0.001
水酸化銅イオン	OH-	0.027			

6 泉質 ナトリウム-塩化物温泉 (低張性・弱アルカリ性・低温泉)

7 禁忌症、適応症等は別表による。

平成30年2月9日
温泉分析機関 静岡県第1号
静岡県静岡市東区北東東4丁目27番2号
一般財団法人静岡県生活科学検査センター 理事長 明石 一和

《歴史》

なにしろその歴史は古い。平安時代の説話本《日本霊異記》にも《宇塩》という地名の記述があり、また掛川史稿には「宇塩養福寺門前に塩井あり、これを沸かして入浴すれば～」等の記述がある。現在も潮源之湯の源泉は潮源山養福寺の門前にあり、この寺の由緒を辿れば、少なくとも800年前から潮源之湯は存在したと考えられる。また、現在の地名《牛尾》は《潮》や《宇塩》にも通じ、《塩気のある井戸》は、平安時代から知られていたのかもしれない。大変興味深い。

明治期には《潮月館》という温泉宿があったようで、明治26年の静岡県明治銅板画風景集にも風景画が描かれている。潮月館の位置は、ちょうど現在の本田山荘のあたりだろうか。



昭和になると、38年の老人福祉法制定にともない、地域でお金と力を出し合っ…という形で《老人憩いの家》

が作られた。これが令和2年まで続いたが、老朽化によって閉鎖されることとなり、その代わりとして地域貢献的施設《プラザみんな》が建てられた。

《源泉とその利用》

源泉は、牛尾山の潮源山養福寺の門前（階段下）にある。



源泉からパイプで導かれ、《プラザみんな》で利用されるとともに、隣接する特別養護老人ホーム《本田山荘》でも利用されている。

